

環境関連データ 2017-2021年度推移



■CO2排出量

対象：極東開発工業

項目		算定方法	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
			排出量(トン-CO ₂)	排出量(トン-CO ₂)	排出量(トン-CO ₂)	排出量(トン-CO ₂)	排出量(トン-CO ₂)
スコープ1+2			13,871	13,956	15,031	13,751	14,635
スコープ1	自社での燃料使用に伴う直接排出	自社での燃料使用に伴う直接排出	4,265	4,257	4,452	4,248	4,310
スコープ2	外部から購入した電力や熱の使用に伴う間接排出	電力や熱の使用に伴う間接排出	9,606	9,699	10,578	9,503	10,325
スコープ3		スコープ1、2以外の間接排出（自社の活動に関連する他社の排出）	—	—	85,124	88,092	100,868
カテゴリ1	購入した製品・サービス	原材料の年間購入重量より算定	—	—	37,472	33,185	36,112
カテゴリ2	資本財	1年間の設備投資金額に、投資金額当たりの排出原単位を乗じて算出	—	—	3,523	12,897	17,603
カテゴリ3	燃料及びエネルギー関連活動	年間でのエネルギー使用量をもとに算定	—	—	2,334	2,459	2,245
カテゴリ4	輸送・流通（上流）	製品を出荷する際の輸送に係る排出量を算定	—	—	7,409	9,796	11,466
		省エネ法の特定荷主の算定方法に基づき算定	—	—			
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	廃棄物を種類別に分類し、廃棄物処理方法の排出原単位を乗じて算出	—	—	601	516	618
カテゴリ6	出張	従業員数をもとに算定	—	—	135	139	142
カテゴリ7	従業員の通勤	自動車通勤者：マイカー通勤距離より算出 上記以外：自動車通勤者以外の人数に営業日数と旅客鉄道での排出原単位を乗じて算出	—	—	1,099	1,187	1,296
カテゴリ12	販売した製品の廃棄		—	—	30,577	26,504	29,531
カテゴリ15	投資	株式保有株数により算定	—	—	1,975	1,409	1,855
CO2総排出量 合計					100,155	101,843	115,503

※スコープ3における排出量は、2019年度から算出

■原単位におけるCO2排出量

対象：極東開発工業、日本トレクス、極東開発パークキングの合計

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO2排出量（トン）	20,885	21,985	22,543	20,175	21,995
売上高（百万円）	109,890	110,987	115,171	110,260	107,099
原単位	0.190	0.198	0.196	0.183	0.205
2013年度比削減率（%）	-13.9	-10.2	-11.3	-17.1	-6.9
2020年度比削減率（%）	-	-	-	-	12.2

■エネルギー使用量

対象：極東開発工業

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	使用量	G J 換算	使用量	G J 換算	使用量	G J 換算	使用量	G J 換算	使用量	G J 換算
ガソリン（kl）	41	1,419	39	1,349	37	1,280	39	1,349	35	1,211
灯油（kl）	45	1,652	37	1,358	44	1,615	38	1,395	37	1,358
軽油（kl）	369	13,911	376	14,175	415	15,646	407	15,344	466	17,568
A重油（kl）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C重油（kl）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
LPG（トン）	334	16,967	312	15,850	345	17,526	326	16,561	313	15,900
都市ガス（千m ³ ）	937	42,167	966	43,472	957	43,067	906	40,772	889	40,005
電力（千kWh）	20,024	197,839	20,434	201,840	19,956	197,094	19,694	194,541	19,308	190,750
合計		273,955		278,044		276,228		269,962		266,792

■第1種特定化学物質

対象：極東開発工業

排出量 (kg)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
トルエン	13,011	13,050	10,911	10,815	9658
キシレン	29,041	24,800	25,441	28,688	24585
エチルベンゼン	9,133	7,200	6,743	8,158	6818
原単位(排出量/売上高)	1.14	1.06	0.96	1.07	0.95

移動量 (kg)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
トルエン	4,240	3,690	3,870	3,440	3680
キシレン	9,400	4,700	4,500	4,800	5600
エチルベンゼン	3,450	1,580	1,530	1,650	1710
原単位(排出量/売上高)	0.38	0.23	0.22	0.22	0.25

■化学物質排出量 (総VOC量)

対象：極東開発工業

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
総VOC量(トン)	83	71	68	72	75
原単位(g/m ³)	99	89	79	96	103

■水資源投入量・排出量 対象：極東開発工業、日本トレックスの合計

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
投入量(m ³)	205,349	223,693	207,318	236,617	280,869
排出量(m ³)	171,827	188,600	184,348	203,474	201,625

※詳細データ

2021年度		極東開発工業						日本トレックス		
		横浜工場	名古屋工場	三木工場	三木工場 (南)	福岡工場	本社	尼崎事業所	本社事業所	音羽事業所
投入量【m ³ 】	上水道	8,087	3,221	48,696	989	3,190	4,336	312	33,064	19,877
	地下水	27,506	61,342	—	—	—	—	—	70,249	—
排出量【m ³ 】	上水道	8,087	38,260	48,696	989	3,190	4,336	312	33,064	19,877
	地下水	27,506	—	—	—	—	—	—	70,249	—

2020年度		極東開発工業						日本トレックス		
		横浜工場	名古屋工場	三木工場	三木工場 (南)	福岡工場	本社	尼崎事業所	本社事業所	音羽事業所
投入量【m ³ 】	上水道	9,161	3,272	49,207	3,774	3,620	7,269	259	—	—
	地下水	29,914	59,496	—	—	—	—	—	70,645	—
排出量【m ³ 】	上水道	9,161	39,898	49,207	3,774	3,620	7,269	259	—	—
	地下水	29,914	—	—	—	—	—	—	70,645	—

2019年度		極東開発工業						日本トレックス		
		横浜工場	名古屋工場	三木工場	三木工場 (南)	福岡工場	本社	尼崎事業所	本社事業所	音羽事業所
投入量【m ³ 】	上水道	12,037	3,066	52,592	871	3,649	4,914	277	—	—
	地下水	35,966	60,391	—	—	—	—	—	33,555 ※	—
排出量【m ³ 】	上水道	12,037	40,487	52,592	871	3,649	4,914	277	—	—
	地下水	35,966	—	—	—	—	—	—	33,555 ※	—

※井水メーター故障により計測が不正確

2018年度		極東開発工業						日本トレックス		
		横浜工場	名古屋工場	三木工場	三木工場 (南)	福岡工場	本社	尼崎事業所	本社事業所	音羽事業所
投入量【m ³ 】	上水道	11,825	2,673	50,384	1,722	3,234	4,440	303	—	—
	地下水	34,152	64,623	—	—	—	—	—	50,337	—
排出量【m ³ 】	上水道	11,825	32,203	50,384	1,722	3,234	4,440	303	—	—
	地下水	34,152	—	—	—	—	—	—	50,337	—

2017年度		極東開発工業						日本トレックス		
		横浜工場	名古屋工場	三木工場	三木工場 (南)	福岡工場	本社	尼崎事業所	本社事業所	音羽事業所
投入量【m ³ 】	上水道	9,089	2,700	49,511	2,402	2,790	4,362	301	—	—
	地下水	34,083	59,185	—	—	—	—	—	40,926	—
排出量【m ³ 】	上水道	9,089	28,363	49,511	2,402	2,790	4,362	301	—	—
	地下水	34,083	—	—	—	—	—	—	40,926	—

■廃棄物管理状況

対象：極東開発工業、日本トレックスの合計

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
総廃棄物量（トン）	2,679	2,674	2,931	2,537	2,608
再資源化量（トン）	2,638	2,632	2,888	2,495	2,571
最終処分量（トン）	41	42	43	42	37
再資源化率（％）	98.5	98.4	98.5	98.3	98.6

■太陽光発電量

対象：極東開発グループ全体

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
極東開発工業 福岡工場：1.5MW規模（kWh）	2,012,120	1,908,170	1,722,740	1,789,776	1,697,768
極東開発工業 旧東北工場：1.5MW規模（kWh）	2,287,990	2,218,019	2,347,819	2,166,445	2,369,608
日本トレックス 音羽事業所：0.35MW規模（kWh）	544,588	525,965	520,697	521,956	517,703
計	4,844,698	4,652,154	4,591,256	4,478,177	4,585,079

■社有車電動化率

対象：極東開発工業

2021年度：60.1%（122台）

■環境会計

対象：極東開発工業 対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

環境保全への取り組みを効率的にかつ効果的に推進することを目的として、事業活動における環境保全コストのためのコスト及び効果を把握し、環境省発行の「環境会計ガイドライン」に沿って環境コストと環境効果を集計しています。

【環境保全コスト】

【単位：百万円】

コスト分類	主な取り組みの内容	2020年度実績		2021年度実績		前年比増減	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
(1) 事業エリア内コスト		75	76	17	84	△58	8
①公害防止コスト	公害防止設備、水質汚濁防止などのコスト	0	12		15	0	3
②地球環境保全コスト	省エネルギー設備のコスト	75	0	17	0	△58	0
③資源循環コスト	廃棄物の分別回収、処理などのコスト	0	64		69	0	5
(2) 上・下流コスト	グリーン調達、リサイクルなど	0	0	0	0	0	0
(3) 管理活動コスト	ISO関連費用・教育	0	4	0	6	0	2
(5) 社会活動コスト	自然保護、緑化、環境団体への寄付、支援	0	2	0	2	0	0
(6) 環境損傷対応コスト	環境汚染の修復費用	0	0	0	0	0	0
合計		75	82	17	92	△58	10

※上記費用には人件費及び減価償却費は含んでいません。

【環境保全効果】

■費用削減効果

【単位：百万円】

分類	項目	効果
収益	廃棄物のリサイクルに伴う収益	125
費用節減 ^{※1}	エネルギー費用の削減	△48 ^{※2}
	廃棄物処理費用の削減	△5
	水購入料の削減	3

※1 対象年実績と前年実績の差を「効果」として算出
 ※2 △マイナスは金額が増加したことを示しています。

■環境保全効果（物量効果）

分類	項目	2020年度	2021年度	環境保全効果
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量（GJ）	269,961	266,794	△3,167
	水資源投入量（千m ³ ）	166	158	△8
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	13,751	14,636	885
	廃棄物総発生量（トン）	1,163	1,218	55
	廃棄物最終処分量（トン）	9	5	△4